

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 356

1987. 7. 28

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. グラフィックディスプレイ装置の移行 ( F6233L から F6242 へ ) について .....	1
2. 結晶構造データベースシステム XDT のデータの追加について .....	3
3. EDIT コマンドの内容識別修飾子 ( データセットタイプ ) の追加について .....	3

### 1. グラフィックディスプレイ装置の移行 ( F6233L から F6242 へ ) について

大型グラフィックディスプレイ装置 F6233L の運用は、8月7日 (金) で終了します。

新システム導入後の8月18日 (火) からは、5台の F6242 グラフィックディスプレイ装置をお使いください。F6233L ではライトペンを使うことができましたが、F6242 にはライトペンはありません。代わりにジョイスティック及びタブレット装置によって入力ができます。更に、F6233L と F6242 とではグラフィックディスプレイ装置を動作させるためのサブルーチンライブラリの仕様がかなり異なります。F6233L のサブルーチンライブラリは GSP ですが、F6242 は T-GSP です。以下に、プログラムの書き換え時に考慮すべき、およその非互換点を挙げます。

詳細については、参考文献 1～3 を参照してください。

#### 1. 初期化・終了化サブルーチン

##### a) INGDR

T-GSP において GSP と同様にバッチから F6242 を使用しようとする時、unit 引数を変更する必要がある。また、T-GSP はこの時、VTAM 経由で F6242 を動作させるため、VTAM アプリケーション名等にも注意する必要がある。

T-GSP には「排他 GDR」の概念がないため、第5引数以下は非互換となる。

装置タイプの名称が '6233' より '6242' へ変更になる。

##### b) INDEV

T-GSP では2台以上のディスプレイ装置を同時に使用できない。

#### 2. オプション定義サブルーチン

##### a) SGRAM

出力方式として 'NOSC', 'SCSS' を指定しても、T-GSP では 'SCSL' とみなす。

- b) SATR
  - T-GSPでF6242を使用する場合、属性として「輝度」、「表示」、「点滅」、「ライトペン検出」はない。
- 3. ウィンドー定義サブルーチン
  - サブルーチンの形式に変更はない。ただし、F6233LとF6242では表示画面の座標系の見出方が異なる。
- 4. イメージ作成サブルーチン
  - a) DFSUB
    - 装置タイプの名称が異なる。
  - b) BGLG
    - T-GSPにはLGの連結の概念がないため、第4引数に2または‘CON’を指定することはできない。
  - c) G----- (Gで始まる各種サブルーチン)
    - T-GSPにはELの概念、LGの連結の概念がないため、各々のサブルーチンのELname, connect 引数は使用できない。
  - d) GINT, GARBE
    - 使用できない。
- 5. イメージ操作サブルーチン
  - a) MDATR, ORDER, HLTDS, RSTDS, DSDIR
    - 使用できない。
  - b) BGLG
    - disposition 引数に4以上の値は使用できない(T-GSPにはELがないため)。
  - c) ERASE
    - GDRを指定できない。
    - erasecode に2が指定できない。
- 6. アテンション処理サブルーチン
  - a) アテンション源
    - 34, 35, 36, 101～132が使用できない。
    - 33がタブレット装置によるアテンションである。
    - 37はライトペンからジョイスティックに変更となり、RQATNで通知される詳細情報が異なる。
  - b) BGTRK, ENTRK
    - トラッキングの概念は、T-GSPにはないため、使用できない。
  - c) RGTSK, CNTSK
    - 子タスク登録の概念は、T-GSPにはないため、使用できない。
- 7. 補助入出力サブルーチン
  - a) RDASW, RDEXT, MOFKL
    - 使用できない。

8. ファイル操作サブルーチン
  - a) PLTFM  
T-GSPでF6242を使用する時には使用できない。
9. サービスサブルーチン
  - a) LOCPN, TRACE, ABTERM, RDTRK  
使用できない。
10. エラー処理サブルーチン
  - a) SAVBUF, DSMSG, RESBUF  
使用できない。

**参考文献**

- 1) 計算機マニュアルFACOM OS IV GSP 文法書(70SP6231), 富士通(株)。
- 2) 計算機マニュアルFACOM OS IV GSF 手引書(70SP6200), 富士通(株)。
- 3) 計算機マニュアルFACOM OS IV/F4 MSP GSL 使用手引書(78SP6210), 富士通(株)。  
(ライブラリ室 電(内) 2508)

**2. 結晶構造データベースシステムXDTのデータの追加について**

7月16日からXDT[1]は結晶解析数が1,597増えて、全体で58,239になりました。結合フェイルエントリ数の増加は1,438で、全体で51,754です。

**参考文献**

- 1 河野ほか, 結晶構造データベースシステムXDTについて(総合版), 九大大型計算機センター  
広報, 16, 6, 1983, 556-604.  
(データベース室 電(内) 2508)

**3. EDITコマンドの内容識別修飾子(データセットタイプ)の追加について**

CおよびPrologのソースプログラム作成のために, EDITコマンドの内容識別修飾子(データセットタイプ)として次のものを追加しました。ご利用ください。

C言語用 ..... C  
Prolog用 ..... PROLOG  
例)  
READY  
E EXAMPLE. C(EXAM1) C

(ライブラリ室 電(内) 2508)